小6 社会 歴史（縄文～平安）一問一答（14問）　版Aの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 縄文時代の終わりごろに大陸から伝わり、弥生時代に各地に広まった農業を何というか	米づくり （稲作 でも正解）
(2) 中国や朝鮮半島から日本に移り住み、進んだ技術や漢字を伝えた人々を何というか	渡来人
(3) 青森県にある、縄文時代の大きなむらの遺跡を何というか	三内丸山遺跡
(4) 3世紀に邪馬台国を治め、30ほどの国を従えた女王はだれか	卑弥呼
(5) 前が四角く後ろが丸い形をした、大きな墓の形を何というか	前方後円墳
(6) 710年に、奈良につくられた都を何というか	平城京
(7) 漢字をもとにして、日本でつくられたひらがなとかたかなをまとめて何というか	かな文字 （仮名 でも正解）
(8) 娘を天皇のきさきにして大きな力を持ち、「この世をば わが世とぞ思ふ」の歌をよんだ貴族はだれか	藤原道長
(9) 平安時代の貴族がくらした、池や庭のある広いやしきのつくりを何というか	寝殿造
(10) 仏教の力で国を治めようと、国ごとに国分寺を建て、東大寺に大仏をつくらせた天皇はだれか	聖武天皇
(11) 中国の進んだ制度や文化を学ぶために、隋に送られた使いを何というか	遣隋使
(12) 645年に中臣鎌足とともに蘇我氏をたおし、のちに天皇となった人物はだれか	中大兄皇子 （天智天皇 でも正解）
(13) 794年に、京都につくられた都を何というか	平安京
(14) 中国の唐の進んだ制度や文化を学ぶために送られた使いを何というか	遣唐使